

久永 日記

大府市の日本共産党・久永かずえ市議会議員が、折々の思いを綴ります。「日本共産党大府東後援会」のニュース（年に4回発行）に掲載しています。ご希望の方には「後援会ニュース」をお届けします。ぜひ、ご覧ください。

▽以下は、この4月発行の「後援会ニュース・2018年春号」に掲載したものです。

私・久永かずえは、4人の子どもを育てている母親です。その三男が生後4カ月の「ゼロ歳」時だったところ、2007年4月の市議選に初立候補を決めました。いま思えば、こわいもの知らずの自分にビックリする決断です。

そんな三男も、この4月からは中学生。いわゆる「いたずら坊主」でしたが、意外に周りに気をつかい、あまり自分を主張しない面もあり、気になっていました。しかし、やらなければならぬことをやり遂げる力を、学校や少年野球、学童保育所での生活を通じて身につけることができました。ことに、感謝、感謝、です。

私も議員「ゼロ歳」でしたが、地域の方々やママ友、家族などに支えられ、育てられて3期11年間余り、活動を続けてくることができました。この3月の議会中も、夫や子どもが病気になり、給湯器も洗濯機もこわれ、パソコンは不調。あわてていて車のドアをこわしたり、大事なものを紛失したり…。まさに「泣きつ面にハチ」状態でした。この悲惨な時期も、ママ友や家族、知人などに「助けてー」とお願いしながら、なんとか乗り切ることができました。これまた、感謝、です。

母として、思春期の子どもたちの「SOS」を見逃さないように努力し、議員としては引き続き市民の方々の「SOS」に気づき、寄り添い、一緒に考えて、解決に向けて活動していく新年度にできたら、と思っています。

